

# 九州地盤情報共有データベース(第3版)

公益社団法人 地盤工学会 九州支部

九州地盤情報システム協議会においては、2006年3月に第1版を、2012年1月には第2版を公開し、2019年3月、新たに18,000本超のボーリング柱状図を追加した第3版を公開致します。

これによって、第1～3版の累計で81,000本を超えるデータ数となります。

今回公開しますボーリング柱状図は、各県単位でフォルダに収納され、XML形式およびPDF形式で電子化されており、各種解析等へのデータ提供・活用が可能となっています。さらに新しいOS(Microsoft Windows7以上)環境下でボーリング柱状図の閲覧が出来、九州地盤情報システム協議会では、引き続きバージョンアップも視野に、皆様のご要望に応えられるデータベースを構築してまいります。

この機会に是非、九州地盤情報共有データベースの購入を検討頂きますよう、よろしくお願い致します。

## 九州地盤情報共有データベース(第3版)の概要

- 九州地方の地質調査結果を集約
- 第3版のボーリング柱状図(18,000本超)をXML、PDFの各形式で提供
- 第1～3版の累計で81,000本超のボーリング柱状図をDVDに格納(各県単位でフォルダに収納)
- 収納したボーリング柱状図は電子化されており、各種解析等へのデータ提供・活用が可能
- 周辺地域の既存データから当該地点の土質性状が類推でき、調査・設計の精度向上とともに、施工の際に活用することで、施工トラブルの解消に有効
- 広域の液状化や斜面崩壊等の地盤防災に関する基礎資料として適用可能

## データベース集約機関 (初版から、これまでに情報提供頂いた機関)

- 国土交通省 九州地方整備局 ○ 福岡県 ○ 佐賀県 ○ 長崎県 ○ 熊本県
- 大分県 ○ 宮崎県 ○ 鹿児島県 ○ 福岡市 ○ 北九州市 ○ 春日市
- (独)水資源機構 筑後川開発局 ○ 日本下水道事業団 九州総合事務所
- (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 九州新幹線局 ○ 福岡北九州高速道路公社 など

## 県別ボーリング柱状図数

地域	ボーリング本数(概数)			
	第1版	第2版	第3版	合計
福岡県	9,040	3,900	2,740	15,680
佐賀県	3,670	1,940	1,170	6,780
長崎県	3,020	7,400	2,310	12,730
熊本県	5,680	5,070	3,730	14,480
大分県	2,770	1,790	1,600	6,160
宮崎県	2,680	9,050	3,370	15,100
鹿児島県	3,720	3,410	3,560	10,690
合計	30,580	32,560	18,480	81,620

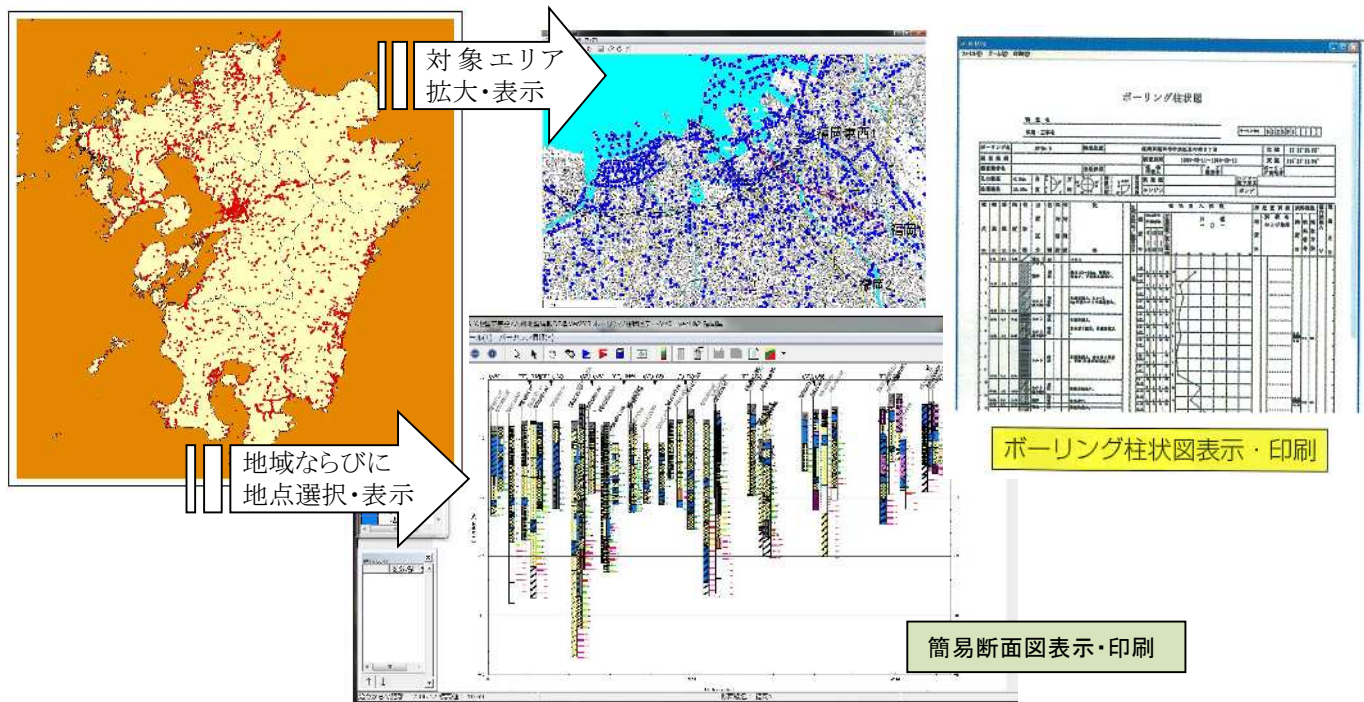
## データベースの機能

- 市販のボーリング交換用データの表示ソフトや汎用GISで利用できます
- 地点検索機能;電子地図上から地質調査地点を検索できます\*
- ボーリング柱状図の表示・印刷機能;電子地図上で選択したボーリング柱状図の表示・印刷が可能です\*
- 断面図表示・印刷機能;複数の簡易柱状図を標高を合わせた形で並列して表示・印刷することが可能です\*

\*これらの機能を利用するには、別途ソフトウェアのインストールが必要です。なお産業技術研究所「ボーリング柱状図解析システム」での利用方法や地理情報システム(GIS)での利用例のドキュメント(word文書)を付録しています。

## 利用マニュアルやGISでの利用例

- 産業技術総合研究所「ボーリング柱状図解析システム」を使用したデータベースの利用マニュアルを付録
- 汎用GISでの利用例を紹介するドキュメントを付録
- 第1版、第2版で収録された一部データの位置情報の不具合を修正



## データベースの利活用について

- 断面図表示システムにより、選択した複数のボーリング柱状図（簡易柱状図）を、標高を合わせた形で並列して表示・印刷することが可能です。さらに地層境界分けができ、登録することも可能です。
- 事業計画や設計図書作成段階において、当該箇所周辺のデータを地盤情報データベースから入手・参照することで、より現実的・信頼性の高い土質、地下水位などの現地条件を把握することが可能となります。
- 地盤情報を知りたい箇所の地層構成、軟弱層の有無、N値の分布、支持層（工学的基盤面）の深度等を把握することができ、地質リスクに関するマネジメントに活用することができます。
- XML形式でのデータを収納しているため、解析ニーズに応じた水理地質構造モデルの構築ができます。
- 道路・河川・港湾等のデータベースとリンクさせることにより、耐震解析が可能となり、地震発生時にも社会的要因、障害の状況、地盤情報を加味した復旧計画策定工法選定に活用することができます。
- XML形式で収納されたボーリング柱状図から、3次元のグリッドモデルやボクセルモデルを構築することにより、BIM/CIMへの対応や、広域的な地下地質構造の把握に活用できます。

## データベースの利用条件

- 本データベース（第3版）にはデータのみ収録されています。本データを利用するためには第1版（55,000円/枚（税込み））、第2版（19,800円/枚（税込み））が必要です。
- クライアント（利用者）PCの動作環境 OS：Windows 7以上で動作確認を行っています。

☆ 販売価格 19,800円/枚（税込み）  
 （第3版を利用するためには第1版（55,000円/枚（税込み））、第2版（19,800円/枚（税込み））が必要です）

☆ 申込み方法 公益社団法人 地盤工学会 九州支部のホームページを参照頂き、メインメニュー<九州地盤情報共有データベース（第3版）のご購入>に添付されていますDVD購入申込書に必要な事項を記入の上、申込下さい。

**お問い合わせ：公益社団法人 地盤工学会 九州支部 九州地盤情報システム協議会**

〒810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12 CTI福岡ビル 1F

電話：092-717-6033, FAX：092-717-6034

<http://jgskyushu.jp/xoops/>, E-mail ; [jgsk\\_jimu@able.ocn.ne.jp](mailto:jgsk_jimu@able.ocn.ne.jp)